

八代市バルバレーやつしろ大会 ルール

1 チーム・メンバー

部門	チーム構成	試合時のメンバー編成
一般の部	監督(20歳以上)を含む4~6人 中学生以上の男女 (男性のみ・女性のみ・男女混合可)	チームから4名出場。(選手交代自由)
ファミリーの部	監督(20歳以上)を含む4~6人 必ず小学生を1人以上含むこと。 幼児不可。家族以外でも可。 (男性のみ・女性のみ・男女混合可)	チームから4名出場。(選手交代自由) ただし、常時コート上に小学生及び20歳以上が1人以上出場すること。

2 ボール

バルバレー公式ボール28を使用する。

3 コート

コートの広さは横6.1m・縦13.4mとし、その中央にネットを張り2分する。
(バドミントンコートと同じ広さ)

4 ネット

ネットの高さは、2mとする。(ソフトバレーボールと同じ高さ)

5 ゲーム方法

ゲーム開始前に、トス(ジャンケン等)によりサーブ権とコートの選択を行う
予選(リンク戦)を行った後、予選順位ごとのグループ別に決勝(トーナメント戦)を行う。
ラリーポイント制で、予選・決勝どちらも7分間1セットマッチとする。
一般の部の予選は、試合開始から2分経過したらボールを2つに増やしゲームを行い、
決勝は、初めからボール2つでゲームを行う。その場合、点数はそのまま累積していく。
ファミリーの部は予選・決勝ともにボール1つで行い、アタック禁止とする。

6 サーブ

サーブは、主審による準備完了の確認を受けてから行う。その際、挙手にて応答すること。
コートの後線外から、主審の吹笛後速やかに行い、必ずサービスチームの全員がボールにタッチし最後の人が相手コートに返球する。得点をしたチームがサーブ権を得る。(サーブは1人1回とする)ボールが2つになった場合、両チーム同時にそれぞれ1つずつサーブを行う。

7 競技者位置

- (1) 競技者は、前衛 2 人、後衛 2 人とし、サーブを打つ瞬間までは、前衛・後衛の並び順を守ること。
- (2) 競技者はサーブ時に時計回りにローテーションし、ボールが2つになった場合も同様とする。

8 ボールへの接触

- (1) 相手からきたボールは、必ず1人1回ずつ触れ、最後の競技者が相手コートへ返さなければならない。
- (2) ボールを受けるときは、片手および両手を基本とし、足でのプレー、もしくは故意とみなされる片手及び両手以外でのプレーはファールとする。また、明らかにボールが止まるような接触があったときは、ホールディング（反則）とする。
- (3) 同一チームの2人の競技者が、同時にボールに触れたときは、1回とカウントする。その後、2人の競技者のどちらかがボールに触れることができる。
- (4) ボールが2つになった場合に、返球ボール同士がネット上で接触した場合はノーカウントとする。

9 競技者交代

ボールデッドのとき、サービス許可の吹笛前に速やかに行う。回数は自由とする。

10 ゲーム中断

主審以外は、ゲームを中断することはできない。
ただし、緊急（ケガ等）のときは、この限りではない。

11 ペナルティ

ゲーム開始時刻に遅れたチームは棄権とし、得点は0対20とする。

12 ゲーム進行

ゲームは本部アナウンス後の主審の吹笛で始まり、主審により進行、本部ブザーで終了する。終了のブザーがなった時点でボールデッドとなり、プレー中であってもゲームは終了する。ただし、同点の場合は、1点先取の延長戦を行い、勝敗を決定する。

13 その他

予選の順位は、次の要領により決する。

- ①（勝ち…3点、負け…0点）
- ② 得失点差
- ③ 勝ち点抽選